



南部小だより

令和6年度9月号
南砺市立福光南部小学校
TEL 0763(52)4050



学校ホームページQRコード

言葉に込めた思い

校長 安田 祐子

2学期がスタートして1か月近くが経過しました。子供たちは、元気に学校生活を送っております。日頃から、保護者・地域の皆様より、学校教育にご理解とご協力をいただいているお陰と感謝申し上げます。

さて、今年の夏はパリオリンピック一色でした。様々な競技において、自分の最高のパフォーマンスを出し切ろうと真剣な選手たちの姿に強く心を打たれました。

今回、特に私の心に残ったのは、体操男子団体の5人の選手たちの姿です。金メダルの獲得以上に、萱選手が仲間にも何度も何度も叫んだ「絶対あきらめるな」の言葉が強烈に心に残りました。最終種目の鉄棒の演技直前には、トップとの差が3点以上で、金メダル獲得には絶望的な状況でした。そんな中、萱選手の「絶対あきらめるな」の言葉に励まされ、自分やお互いを信じて最後まで最高の演技をし、大逆転で金メダルを獲得しました。

「あきらめるな」と、私たちもよく口にしますが、あのとき、萱選手が言うと、なぜあんなに仲間にも力を与えることができたのでしょうか。

萱選手は、前回の東京オリンピックに出場したときに、同じ体操男子団体の0.103という僅差で金メダルを逃し、悔し涙を飲みました。それから努力に努力を重ね“失敗しない男”の異名をもつほどの選手になりました。今大会では、これまでに培ってきた抜群の安定感のある演技で、チームに勢いをもたらしました。また、競技中、選手たちは萱選手の言葉に強く励まされました。ミスをして落ち込みそうな瞬間に、力強く「絶対あきらめるな」と声をかけられ、顔を上げた橋本選手。最終種目の鉄棒の1番手で、とてつもなく緊張する場面に「絶対あきらめるな」と励まされ、勇気もらった杉野選手。他の選手も同様に大きな力ももらいました。萱選手が常に発し続けた「絶対あきらめるな」の言葉は、「あれだけ努力してきたのだから、自分を信じろ、絶対大丈夫」と言っているようでした。これまで、萱選手をはじめとする5人は、美しい演技をする絶対の自信がもてるまで必死に練習してきたのでしょうか。だからこそ、5人は『目標に向かう気持ちの一致の強さ』『一緒に積み重ねてきた努力の大きさ』『これまでの経験の共有の深さ』が裏付けとなり、自分たちは自らあきらめる必要はみじんもないという強い思いが「絶対あきらめるな」の言葉に込められ、お互いの心に響いたのだと思います。

5人を見ていて、私は一つの言葉に込める思いの強さ、大きさ、深さを感じました。そして、私も、萱選手のように子供たちに力を与える言葉をかけられるようになりたいと思いました。

2学期も教職員一同、子供たちのがんばりを認め、励ましながら、子供たちが自分の力を存分に発揮できるように努めて参ります。今後とも学校に対する応援をよろしくお願いいたします。



10月の交通安全街頭指導

10月 1日(火) 米田 祥史さん(柄崎製材所前) 西井 満理さん(殿信号交差点)

10月 15日(火) 松坂 成規さん(柄崎製材所前) 市川 俊也さん(殿信号交差点)

※ 指導時間 柄崎製材所前は7時35分から7時50分です。

殿信号交差点は7時30分から7時45分です。

よろしくお願いいたします。

温故知新～稲刈り体験から学ぶ～（5年生）

8月30日に稲刈りをしました。田植えに続き今回も殿地区の皆さんにやり方を教えてもらいながら作業を進めました。稲を刈り取り、束ねて置き、藁で縛って、はさ掛けまでしました。とくに縛る作業に一苦労。地域の方はさっと藁を巻いたかと思うとぐるっと回して縛り上げます。まねしている子供たちは緩い一重結びにしかありません。「きっと何万回もしてきたから今でも簡単にできるのだろう」と子供たちは熟練の技のすごさを感じ取っていました。

その翌週に社会科の学習で、農業の機械化が進んだことを学習しました。子供たちは稲刈りで体験した作業の労力を考えると、必然的な進化であると考えました。

今回は、昔のやり方ですが、その体験を通して、子供たちには地域の先輩方の熟練の技や機械化の必然性を感じ取り、地域の未来について思いを巡らしてほしいと思います。

（5年担任 山本 和樹）



学習発表会に向けて

9月13日に、各学年の代表2名と運営委員で、代表委員会を行いました。議題は「学習発表会のテーマを決めよう」です。よりよいテーマにしようと、各学年から考えを持ち寄り、熱心に話し合いました。話し合いの結果、今年の学習発表会のテーマは「笑顔輝く南部っ子 心を一つに 力を発揮しよう」に決まりました。

この後、このテーマをもとに、運営委員が中心になって、学習発表会の一か月前イベントとして「学習発表会がんばろう集会」を行い、全校児童でテーマを確認したり各学年の発表の見どころや取り組んでいることを伝え合ったりして、学習発表会への気持ちを高めました。

子供たちが、思いを伝え合って考えたテーマに向かってつくりあげる学習発表会になるよう、教職員全員で力を合わせて支えていきたいと思えます。

（児童会担当 森口董礼）



<代表委員会>



<学習発表会がんばろう集会>

アルミ缶回収にご協力ありがとうございました

8月25日(日)の親子清掃に合わせて行った育成会アルミ缶回収に、地域の皆様からたくさんのご協力をいただきました。回収で得られた収益は、育成会を通じて学校教育活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

10月の行事予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
3	木	クラブ	24	木	誕生プレゼントデー クラブ
9	水	委員会	25	金	ズック持ち帰り
10	木	就学時健康診断	28	月	避難訓練（洪水）
16	水	学習発表会予行	29	火	能楽ワークショップ
19	土	学習発表会 ステージ発表 9:30～11:20 作品発表 9:15～11:30	30	水	能楽鑑賞 10:30～12:00
21	月	振替休業日	31	木	委員会

10月19日(土)の学習発表会、10月30日(水)の能楽鑑賞は、地域の皆様にも子供たちの学習の成果や芸術体験の様子をご覧いただく機会としたいと考えております。どうぞ、ご来校ください。